



# 湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2021年6月11日(金) 天気：晴れ  
例会 第2837回 合唱：それこそロータリー

会長 山本明峰  
幹事 佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日：毎週金曜日 12:30~13:30

## 会長挨拶

My rotary から案内が届いている事と思いますが、明日 12 日から 16 日までの 5 日間にわたり国際大会が開催されます。やはりバーチャルでの大会になるということです。置かれている状況を鑑みれば、国際的な機関に所属したりワールドワイドなイベントを開催することは、台湾にとつての悲願であったでしょうに、さぞ無念のことと察します。思い起こせば数年前、(故)佐藤会長の年度、ソウルで行われた大会に参加させていただいた折、そのオープニングセレモニーに台湾からのロータリアンが大挙して、とても賑やかに参加されていたのが印象に残っております。ちなみに中国にも北京と上海にそれぞれ一クラブずつロータリークラブがあるらしいのですが、その時には一般の参加者は全く見当たらなかったように記憶しております。何はともあれ 2021 年国際大会、奮ってご登録・ご参加下さい。開催スケジュールは全て米国時間に変更されたということですので、ご注意ください！

## スマイル BOX

6/5~11

ご夫人誕生日 佐東丈介君（春美様・6/11）  
伊藤伸之君 コロナワクチン 2 回目接種しました。  
室伏学君  
6月10日、神奈川県旅館ホテル生活衛生協同組合の副理事長に就任しました。なし

## 幹事報告

なし

連絡事項 なし

## 20211 バーチャル国際大会



出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名	会員 25名
	欠席 11名(免除者 3名)	前回の修正出席率 86.96%
	出席率 63.64%	前々回の修正出席率 70.83%

事前メイクアップ 0名

## 卓話：苅谷 和彦君

今回は湯河原町とチボリ市との姉妹都市の橋渡しをされた石倉さんとの思い出を話していきたいと思います。今回偶然なのか必然なのか当時商工会の会長が石倉さんで、自分は当時の旅館組合青年部の部長、そしてチボリの新しい社長として樋口くんが2人の元に現れたことが始まりではないかと思えます。

周りの優しい方達にも恵まれてイタリアに行くことができました。石倉さんはとにかく湯河原の代表として立ち居振る舞い、親交を深めてゆき、ほとんどイタリア語も話さすこともなくイタリアの議員さん達から信頼と絆を勝ち取ることができたのは全て石倉さんがいたからこそだと思います。色々な方をユーモアと大きなゼスチャーで笑わせて笑顔にして isikura~ とイタリアの方達から常に呼ばれて慕われているのは、言葉は通じなくてもわかるほどです。

イタリア人の過剰に愛情表現をする国民気質にシャイな日本人だと思っていたであろうイタリアの方達にはとてもフレンドリーで親しみを持つ事でより湯河原との姉妹都市の話も進んでいったのではないかと思います。

チボリ市はローマの水源になっていまして、距離も車で30分強のところに位置しています。

テルマエでも有名で温泉治療などの医療としての場所としてイタリア各地から治療に来られる方も多ようです。そしてチボリ市はローマの方達が避暑地としても利用されるようで夏などは子供連れのローマの親子などが夜遅くにたくさん散歩している風景を見ることができます。

少し日本の軽井沢の様な雰囲気を持っているのかなと感じ取ることができました。

おまけで実はイタリアの結婚式に参加させて頂く機会を与えてもらったのでイタリアの結婚式ってどんなだろうと思う方もいると思うのでそのお話もさせてもらおうかと思えます。

まず費用はどうか？日本では一般的に30,000円ほど包んでお祝いとして持っていくますが、イタリアでは金額が決まってないということも伝えておこうかと思えます。現地の日本人に聞いても本当に決まっていなそうで、五千円でも、一万円でも、十万円でも良いそうです、すべてがそうだとはいいきれないのですがそこもイタリア人ならではのアウトさではないのかとも思えます。また、収入や格差もきつとあるのではないかととも思えます。なんとなくですが参加が優先で金額はその人の無理にならない様に払える金額があるのかなとは思っています。ただ日本人はそこがとても不安というか決まっていな金額に動揺すると感じました。とりあえず日本人ならこのくらいを払いましたが、しかも銀行振り込みなんですよ。

信仰も深いイタリア人は教会で結婚式を上げます。日本の教会とはやはり違い、牧師さんのお話も長く少し聖書を読む時間があり、結婚式をしている最中にも信仰の深い信者が並んで牧師さんからパンの様なものを分けてもらう風景も見られるなど日本とは違うって事がよく分かりました。また披露宴会場はローマからバスで30分程移動してお城で披露宴が始まります。ここはトムクルーズが結婚披露宴を挙げたところで有名なお城な様です。

スケールは凄いですけど地元の結婚式の流れと同じようなところも多く、ケーキ入刀や、新婦のお父さんお母さんへの感謝の手紙など共通の部分も多く、日本と似ているなど感じることも多いですね。ただやはりお城でやるという事がとても新鮮で景色や着飾るイタリア人など目に入るものがとてもおしゃれにかんじます。披露宴前に前室が芝生の中庭でお料理をつまみながらお酒を飲んでワイワイしますこれで終わっても良いのではと思うほど、その後石畳の中庭でテーブルが20卓ほどありこの風景は日本の披露宴とさほど変わりません、ただお城の中庭景色が素晴らしいそしてライトアップがピンク紫黄色などのライトでポップに全体が色ついています。ただ雨降るとどうなるの？という疑問もすこしありましたが、とても良い経験をさせてもらう事ができました。

